



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年2月8日

上場会社名 コタ株式会社 上場取引所 東証第一部
 コード番号 4923 URL <https://www.cota.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)小田 博英
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営企画部長 (氏名)山崎 正哉 TEL (0774)44-4923
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の業績 (2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	6,154	3.3	1,541	10.4	1,559	10.4	1,081	10.0
2020年3月期第3四半期	5,958	9.4	1,395	9.4	1,412	11.2	983	8.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	54.93	—
2020年3月期第3四半期	49.92	—

(注) 当社は、2020年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を行っております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	11,075	8,495	76.7
2020年3月期	10,356	7,744	74.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 8,495百万円 2020年3月期 7,744百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	18.00	18.00
2021年3月期	—	0.00	—		
2021年3月期(予想)				18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、2020年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を行っております。

3. 2021年3月期の業績予想 (2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,650	2.5	1,505	2.4	1,573	5.4	1,082	4.5	54.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	22,494,819株	2020年3月期	22,494,819株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	2,805,498株	2020年3月期	2,798,791株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	19,691,383株	2020年3月期3Q	19,698,273株

(注) 当社は、2020年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を行っております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、さまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式分割について)

当社は、2020年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を行っております。

前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

なお、添付資料P. 7「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項（重要な後発事象）」に記載のとおり、当社は2021年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を予定しておりますが、「3. 2021年3月期の業績予想」に記載している1株当たり当期純利益は、当該株式分割を考慮しておりません。当事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定した場合の1株当たり当期純利益は、49円95銭となります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7
(重要な後発事象)	7
3. その他	9
(1) 役員の異動	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、多くの企業が事業活動の制限を強いられ、景気は急速に悪化しました。昨年5月の緊急事態宣言解除後は、国内の経済活動に回復の兆しがみられたものの、感染が再拡大しており、厳しい状況となっております。

美容業界におきましても、今後の感染状況による影響は不透明であり、決して楽観視はできませんが、昨年5月の緊急事態宣言解除後は美容室の来店客数等が前年並みに戻りつつあり、業績も回復傾向にあります。しかし、来店客数の減少や客単価の伸び悩み等、依然として美容室にとって厳しい経営環境が続いており、経営競争による二極化が進んでおります。

このような状況の中、当社におきましては「美容室とともに女性を髪から美しくする」というコーポレート・スローガンのもと、美容室でのカウンセリングを通じて、来店客に対して付加価値の高いヘアケア提案を行いました。特に、ヘアケアの基本であるシャンプー及びトリートメントについては、「女性は髪からもっと美しくなれる」という考えに基づき、主力ブランドである「コタ アイ ケア」の美容室での販売を推進し、多くの『女性のキレイ』を髪から応援してまいりました。また、創業精神である「美容業界の近代化」をベースに、独自のビジネスモデルである「旬報店システムを軸としたコンサルティング・セールス」と「トイレタリーの販売を中心とした店販戦略」を引き続き展開し、美容室の業績向上に向けた提案や経営に関する支援を行いました。

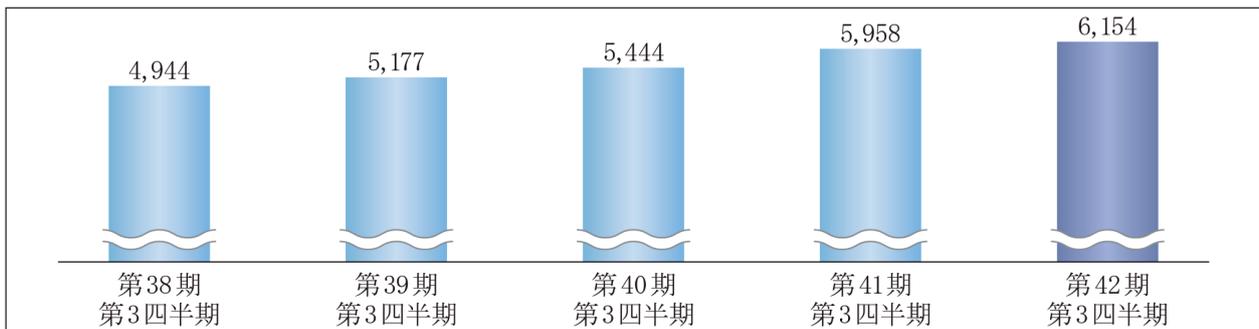
売上高につきましては、コロナ禍においても店販戦略の主力である「コタ アイ ケア」の販売が堅調に推移し、2020年11月から12月にかけて開催した当社製品の販売コンクールである「コタ全国店販コンクール」の結果も好調であったことから、前年同四半期を上回りました。

また、売上原価につきましては、増収により増加いたしました。引き続き原価管理の見直し等を行っていることから、売上原価率は前年同四半期を下回りました。販売費及び一般管理費につきましては、人件費の増加等により、前年同四半期を上回りました。

これらの結果、当第3四半期累計期間の売上高は6,154百万円（前年同四半期比3.3%増）、営業利益は1,541百万円（前年同四半期比10.4%増）、経常利益は1,559百万円（前年同四半期比10.4%増）、四半期純利益は1,081百万円（前年同四半期比10.0%増）となりました。このような厳しい経営環境の時ほど、美容室の業績向上に貢献できる当社独自のビジネスモデルが機能していることから、下記のグラフのとおり着実成長の傾向に大きな変化はありません。

売上高

(単位:百万円)



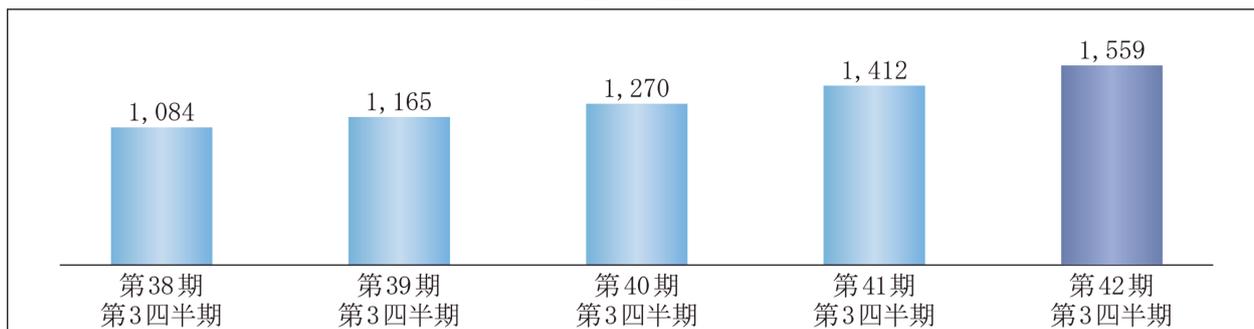
営業利益

(単位:百万円)



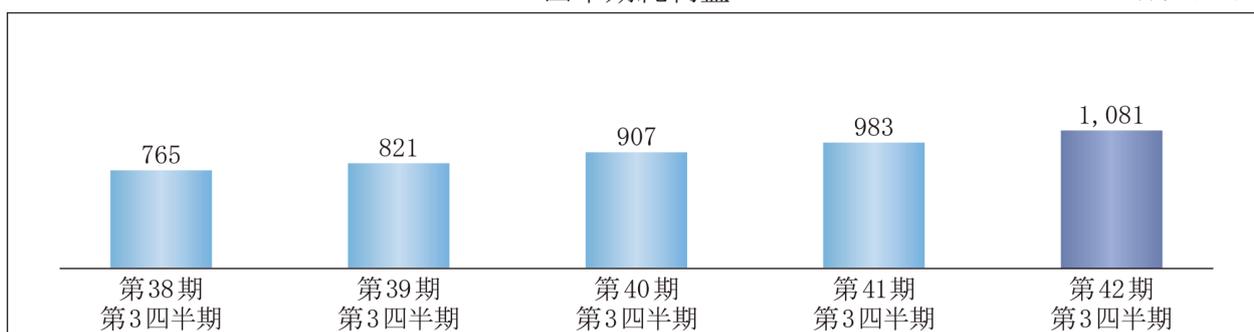
経常利益

(単位:百万円)



四半期純利益

(単位:百万円)



なお、当社は美容室向け頭髪用化粧品、医薬部外品の製造、販売事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の開示は行っておりませんが、売上高の内訳は、以下のとおりであります。

区分	前第3四半期累計期間		当第3四半期累計期間		増減額 (百万円)	増減率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)		
トイレタリー	4,405	74.0	4,472	72.7	66	1.5
整髪料	939	15.8	1,095	17.8	156	16.7
カラー剤	227	3.8	220	3.6	△7	△3.3
育毛剤	207	3.5	227	3.7	20	9.8
パーマ剤	91	1.5	81	1.3	△10	△11.0
その他	86	1.4	56	0.9	△29	△33.9
合計	5,958	100.0	6,154	100.0	196	3.3

当社では、「美容室の繁栄が当社の繁栄につながる」という基本的な考え方のもと、具体的な戦略として、美容室の経営改善システムである「旬報店システム」を軸とした美容室の経営コンサルティング（コンサルティング・セールス）を展開し、トイレタリー（シャンプー、トリートメント等）の販売を中心とした「店販」を戦術として、成長・繁栄につながるさまざまな提案を美容室に行っております。

そのため売上高に占めるトイレタリーの割合は70%程度となっており、同業他社に比べ高いことが特徴であります。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第3四半期会計期間の総資産は、前事業年度から719百万円増加し、11,075百万円となりました。

主な要因としては、受取手形及び売掛金が448百万円、土地が194百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間の負債は、前事業年度から31百万円減少し、2,580百万円となりました。

主な要因としては、販売奨励引当金が292百万円、未払法人税等が69百万円、退職給付引当金が41百万円増加し、未払金が443百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間の純資産は、前事業年度から751百万円増加し、8,495百万円となりました。

主な要因としては、利益剰余金が759百万円増加したことによるものであります。なお、自己資本比率は、76.7%（前事業年度74.8%）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年4月に新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けて発せられた緊急事態宣言の影響により、一部の美容室で営業の自粛、来店客数の大幅減等を余儀なくされ、当社の業績にも一定程度の影響がありましたが、解除後は来店客数等も前年並みに戻りつつあります。

今後の美容室経営においては、引き続き経営競争による二極化が進むことが予想されますが、独自のビジネスモデルである「旬報店システムを軸としたコンサルティング・セールス」と「トイレタリーの販売を中心とした店販戦略」を展開し、美容室の業績向上に資することができる当社にとっては、今後のビジネス環境の変化は追い風であると認識しております。したがって、当社では、独自のビジネスモデルを通じて、お取引先美容室の業績向上に取り組み、業界の発展と近代化に引き続き注力する考えであります。

業績予想につきましては、2020年5月8日に公表いたしました2021年3月期の通期業績予想を本日（2021年2月8日）付で修正いたしました。修正の詳細につきましては、同日付で公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,929,513	4,969,213
受取手形及び売掛金	1,203,262	1,652,239
有価証券	100,000	100,000
商品及び製品	634,047	556,610
仕掛品	27,944	42,979
原材料及び貯蔵品	281,875	266,692
その他	53,028	61,715
貸倒引当金	△30	△69
流動資産合計	7,229,641	7,649,381
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,035,408	991,180
土地	1,158,906	1,353,039
その他（純額）	113,533	184,540
有形固定資産合計	2,307,848	2,528,761
無形固定資産	104,133	65,830
投資その他の資産	714,600	831,819
固定資産合計	3,126,582	3,426,410
資産合計	10,356,224	11,075,791
負債の部		
流動負債		
買掛金	153,862	160,447
未払金	540,335	97,276
未払法人税等	357,820	427,790
賞与引当金	232,313	120,990
役員賞与引当金	—	16,165
販売奨励引当金	46,559	339,255
その他	322,856	462,303
流動負債合計	1,653,747	1,624,228
固定負債		
退職給付引当金	183,111	224,921
役員退職慰労引当金	584,728	547,064
資産除去債務	48,523	48,601
長期預り保証金	141,723	135,223
固定負債合計	958,086	955,809
負債合計	2,611,834	2,580,037
純資産の部		
株主資本		
資本金	387,800	387,800
資本剰余金	330,888	331,013
利益剰余金	9,299,588	10,058,989
自己株式	△2,274,959	△2,283,388
株主資本合計	7,743,316	8,494,414
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,073	1,339
評価・換算差額等合計	1,073	1,339
純資産合計	7,744,389	8,495,753
負債純資産合計	10,356,224	11,075,791

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	5,958,254	6,154,863
売上原価	1,455,175	1,478,811
売上総利益	4,503,079	4,676,052
販売費及び一般管理費	3,107,564	3,134,819
営業利益	1,395,514	1,541,232
営業外収益		
受取利息	2,294	2,569
受取配当金	1,219	613
受取賃貸料	4,737	4,327
業務受託料	7,200	7,200
その他	3,630	5,187
営業外収益合計	19,082	19,897
営業外費用		
賃貸費用	898	1,076
固定資産除却損	461	0
その他	906	638
営業外費用合計	2,266	1,715
経常利益	1,412,330	1,559,414
税引前四半期純利益	1,412,330	1,559,414
法人税、住民税及び事業税	504,382	520,398
法人税等調整額	△75,385	△42,683
法人税等合計	428,996	477,714
四半期純利益	983,334	1,081,699

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社は美容室向け頭髮用化粧品、医薬部外品の製造、販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(株式分割)

当社は、2021年2月8日開催の取締役会において、株式の分割及び株式分割に伴う定款の一部変更に関して下記のとおり決議いたしました。

1. 株式分割の目的

当社株式の投資単位当たりの金額を引き下げることにより、株式の流動性の向上と投資家層の拡大を図ることを目的としております。

2. 株式分割の概要

(1) 分割の割合及び時期

2021年4月1日付をもって2021年3月31日（水曜日）最終の株主名簿に記録された株主の所有普通株式1株につき、1.1株の割合をもって分割いたします。ただし、分割の結果生ずる1株未満の端数株式は、これを一括売却又は買受けし、その処分代金を端数の生じた株主に対し、その端数に応じて配分いたします。

(2) 分割により増加する株式数

2021年3月31日（水曜日）最終の発行済株式総数に0.1を乗じた株式数といたします。ただし、計算の結果1株未満の端数株式が生じた場合は、これを切捨てることといたします。

株式分割前の当社発行済株式総数	22,494,819株
今回の分割により増加する株式数	2,249,481株
株式分割後の当社発行済株式総数	24,744,300株
株式分割後の発行可能株式総数	74,699,780株

3. 日程

基準日公告日	2021年3月16日（火曜日）
基準日	2021年3月31日（水曜日）
効力発生日	2021年4月1日（木曜日）

4. 当該株式分割が前事業年度の開始の日に行われたと仮定した場合の1株当たり情報及び当事業年度の開始の日に行われたと仮定した場合の1株当たり情報は、以下のとおりとなります。

項目	前第3四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
1株当たり四半期純利益	45円38銭	49円94銭

- (注) 1 前第3四半期累計期間の1株当たり四半期純利益は、2020年4月1日付の株式分割(1:1.1)及び2021年4月1日付予定の株式分割(1:1.1)が前事業年度の期首に行われたと仮定して算定しております。
- 2 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

5. 定款の一部変更について

(1) 定款変更の目的

今回の株式分割に伴い、会社法第184条第2項の規定に基づく取締役会決議により2021年4月1日付をもって当社定款の一部変更を行います。

(2) 変更の内容

変更の内容は、次のとおりであります。

(下線部分は変更箇所)

現 行 定 款	変 更 後
(発行可能株式総数) 第6条 当社の発行可能株式総数は、 67,908,891株とする。	(発行可能株式総数) 第6条 当社の発行可能株式総数は、 74,699,780株とする。
(新設)	(附則) 第1条 第6条の変更の効力発生日は、 2021年4月1日とする。なお、 本附則は効力発生日をもって 削除する。

3. その他

(1) 役員の変動

①代表者の変動

該当事項はありません。

②その他役員の変動 (2021年1月25日付)

今般、当社元監査役が複数年度にわたり会社の資金約5,670千円を私的に流用していたことが社内調査において発覚いたしました。発覚を受け元監査役に確認したところ、事実である旨を認め2021年1月25日付で監査役を辞任いたしました。

1. 辞任監査役 (常勤監査役)

- (1) 氏名 : 富永 渉
- (2) 辞任日 : 2021年1月25日
- (3) 辞任理由 : 本人の一身上の都合によるものです。

2. 就任監査役 (社外監査役)

- (1) 氏名 : 岡森 久倫
- (2) 就任日 : 2021年1月25日
- (3) 略歴 : 1987年4月 国税専門官
1990年10月 センチュリー監査法人 (現 EY新日本有限責任監査法人) 入社
1994年8月 木村税務会計事務所入所
2000年7月 株式会社関西ベンチャーインキュベーター取締役 (現任)
2004年12月 K V I 税理士法人代表社員 (現任)

なお、岡森久倫氏は、2019年6月21日開催の当社第40回定時株主総会において、補欠監査役に選任されており、社外監査役としての要件を満たしております。